

仁雄会
穂高病院
広報誌

ふんあひ

2018

11

No.37

- 山と私
- 第13回病院祭
- 委員会紹介「薬事審議委員会」
- 第36回全国新作花火競技大会
- 64列マルチスライスCT装置入れ替え
- 災害訓練
- 秋の全国交通安全運動



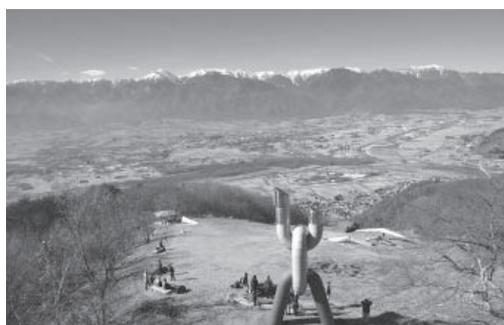
撮影：大久保 喜雄

山と私

幼い頃の山の思い出と言えば、冬休みに兄と共に親父に連れられて地元の高峰に登ったおぼろげな記憶があります。高峰といっても北アルプスなど足元にも及びません。私の故郷は三重県津市、高峰とは経ヶ峰のこと、標高800m余りの平凡な山です。恐らく小学校低学年くらいだったでしょうが、小柄でひ弱な体にとっては、低山とはいえ真冬の山登りはつらいばかりで、あまり楽しいものではありませんでした。

それからの私は、運動と言えば地元の少年団の野球とか、中学校での部活のサッカーとか、(高校は帰宅部で、通学に自転車漕いだくらい…)、大学では何を血迷ったかラグビー部に入って楯円球に振り回されたりとか、とにかく球技ばかりで山にも海にも目をくれることはほとんどありませんでした。

世界(もちろん考える頭も必要です)、最低限の



長峰山より安曇野、北アルプスを望む
(2017年12月3日)

医学知識も必要不可欠ですが、大事なのは知識よりも経験である。私は考えており、数多くの経験を積むには人並み以上の体力が欠かせないわけですから、とはいえ、運動するために時間を割く事など、要領の悪い私には至難の業で、日々の業務に忙殺されたまま十数年が過ぎてしまいました。

再び山に目を向けるきっかけとなったのは、前任地が静岡であったため、「ここにいるうちに一度は富士山に登ってみよう」と思い立った事です。こうして、不惑にして本格的に登山を始めたわけですが、結果として、「富士山は登るもんでなく眺めるもんだ」という感想しか残りませんでした。それからというもの、ただ登るだけのしんどい山ではなく、行程の楽しめる八ヶ岳や南・北アルプスやその周囲の山々に足繁く通ううちに、いつの間にか山とは切っても切れない関係になってしまい、気が付けば北アルプスの麓が定住地になっていました。

長々と私事ばかり書き連ねてきて少々気恥すかしいですが、引き続き時間の許す限り山に登って心を洗い、体力を維持し、そしてこの安曇野の地に新たに生を受けられることもたちのために尽力していきたいと考えておりますので、末永いお付き合いを賜りたく存じます。

小児科医師

黒川 啓二



母校と経ヶ峰 (2013年11月24日)

「第13回 病院祭」



10月13日、爽やかな秋晴れの中、「第13回 穂高病院祭」が開催されました。オープニングは恒例となった常念太鼓の力強い演奏、そしてイベントホールでは穂高西小学校合唱部の皆さんが清やかで愛らしい歌声を、蠓ヶ崎高校吹奏楽部の皆さんが若さ溢れる演奏を披露してくださいました。

講演会では当院永田医師・古川医師により「もっこ知りたい、腹腔鏡手術」というテーマで、鼠径ヘルニアや婦人科疾患を中心に、実際の手術中映像を見ながらのわかりやすい

講演がありました。

体験コーナーでは、ストレスチェック、骨塩量の測定、もの忘れ相談などを行い、多くの方に体験していただき好評いただきました。毎年人気のことも白衣体験では今回初登場のスクラフ（手術時に着用する服）が人気で、ドクターやナースになりきっていることも達のかわいい姿が見られました。

ヘビーマッサージでは10組の親子が参加され、和気あいあいとした中、ママも赤ちゃんも癒しのひと時になったのではないのでしょうか。

穂高病院合唱団による合唱発表では、安曇野市穂高在住の音楽家長瀬博先生が作ってくださった穂高病院歌のお披露目もあり、会場もおおいに盛り上がった中、閉祭式となりました。

今年も多くの地域の皆さんにご来場いただきました。ありがとうございました。

(レディース病棟 倉嶋真奈美)



委員会紹介

薬事審議委員会



病院内で扱われる医薬品に関わる事項を診療部・看護部・診療技術部（薬剤科）が集まって検討する委員会です。

主な検討議題は、①新規採用医薬品について、②削除医薬品について、③期限切迫品目について、④抗生剤（注射剤）の使用量について、⑤副作用報告について、⑥見積りについて、⑦医薬品メーカーからの情報についてなどあり、多岐にわたります。

平成29年は新規採用医薬品96品目、削除医薬品88品目でした。後発医薬品の採用も積極的に進めています。

医薬品を使用する上で副作用は重大事項です。患者さんに、より安全に使用していただくように厚生労働省からの報告などを参考に検討しています。

医薬品メーカーからの情報も日々膨大な量になります。これらを薬剤科で収集・整理・検討を行い当院に必要な情報を委員会へ報告しています。

病院は多職種がそれぞれ専門性を活かして活動していますので、情報共有が大切です。医薬品の情報が院内に速やかに共有できるように常に考えていきたいと思っております。

(薬剤科 山田伊津子)

第36回 全国新作花火競技大会

去る9月1日、親睦会行事として諏訪市で行われた全国新作花火競技大会に行ってきました。病院から2台のバスに乗り会場に向かいました。

当日の天気は雨、会場に到着した時は雨具なしではいられませんでしたが、年に一度の新作花火大会に多くの人が詰めかけていました。開演までは準備してきたお弁当や屋台で買った温かいもので食事をとって待ちました。場内アナウンスでは雨はいつたん強くなった後には雨が上がるとの予報でした。その予報通り19時の開演には雨が上がり花火大会がスタートしました。

競技大会会長によると、全国の意欲ある煙火師の皆さんが斬新な発想と独創的な技術で花火の美しさを競い、そのテーマに合った曲にのせて発表する競技大会として高い評価を得ているとのこと、最近話題の曲や、誰もが知っている名曲に合わせて打ち上げられました。その美しさや個性はどれも素晴らしく、会場からは拍手や歓声が起こっていました。競技会の途中には諏訪湖の湖面を利用した水上スターマインが打ち上げられました。こちらも華やかで見応えがありました。参加した中学生の男の子は「す〜くきれいだっ」と言っていました。あつこという間の1時間半、大人も子供も楽しめる夜のひとときを過ごすことができました。

(栄養科 塩原紀美江)



64列マルチスライスCT装置入れ替え



この度、穂高病院放射線科では、お盆休みを利用してCT装置をGEヘルスケア・ジャパン社の「Revolution EVO EX」に更新しました。以前のCT装置に比べ、大きく3つの特長があります。

①X線も低線量で撮影ができ、被ばくを低減することが出来ます。②撮影時間が短いため、長い息止めが難しい患者さんの負担が減少されます。例えば、以前は腹部撮影での1回の息止めが20秒位かかっていたのが、10秒位でできるようになりました。③金属ノイズや雑音を低減する事により、体内に差し歯や人工骨頭など入っている患者さんでも高画質が得られるようになりました。

このような特徴に加え、冠動脈(心臓)に栄養や酸素を供給するための血管)を検査する、冠動脈造影CT検査が新たにできるようになりました。以上のような新しい検査が可能になった新CT装置。機会があらましたら是非、体験してみてください。放射線科お待ちしております。

(放射線科 松本二葉)

災害訓練

安曇野市総合防災訓練の日でもある9月第1日曜日に、当院でも災害時医療救護訓練が実施されました。震度6弱の地震の発生を想定した訓練内容で、連絡網にて災害時救護チームへ伝達・集合を目的とした参集訓練、火災の有無・建物や部署の損傷・避難経路等の確認を目的とした被害状況確認訓練、消防署への通報訓練、屋内消火栓・消化器の設置場所の確認、初期消火訓練、トリアージ(治療や救急搬送の優先順位付け)訓練などが行われました。また避難場所の確保として救護テントの設置も行いました。



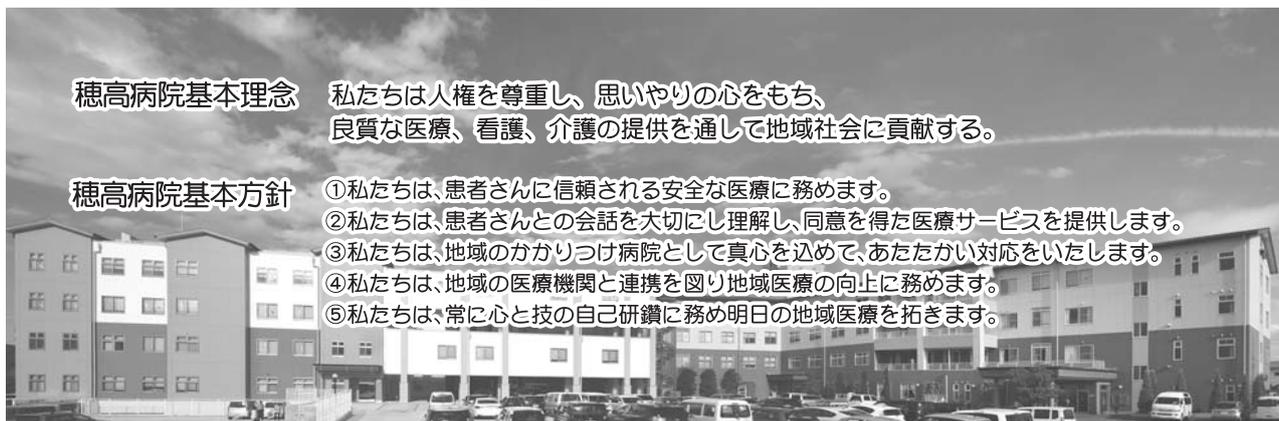
医療コーディネーターである古屋副院長より、歩ける方・歩けない方を判別してトリアージを行っていくこと、E.M.S(広域災害救急医療情報システム)の活用について等のお話があり、日頃の準備や各々の役割を理解して迅速に行動することの大切さを改めて感じました。

(災害救護チーム 田中万葉)

秋の全国交通安全運動



9月に秋の全国交通安全運動が実施されました。今年も期間中安曇野警察署の署員と安曇野市役所の方が県下一斉街頭活動で穂高病院を訪れ、正面玄関前において交通事故防止に関するチラシ等の配布を実施されました。今年の長野県の重点課題は通学路・生活道路の安全確保と歩行者保護の徹底ということで、来院したドライバーの方々には歩行者等を保護するという意識を持つていただくようチラシや反射材の付いたバンドを配布し声をかけていました。



穂高病院基本理念 私たちは人権を尊重し、思いやりの心を持ち、
良質な医療、看護、介護の提供を通して地域社会に貢献する。

穂高病院基本方針

- ① 私たちは、患者さんに信頼される安全な医療に務めます。
- ② 私たちは、患者さんとの会話を大切に理解し、同意を得た医療サービスを提供します。
- ③ 私たちは、地域のかかりつけ病院として真心を込めて、あたたかい対応をいたします。
- ④ 私たちは、地域の医療機関と連携を図り地域医療の向上に務めます。
- ⑤ 私たちは、常に心と技の自己研鑽に務め明日の地域医療を拓きます。

診療案内

平成 30 年 11 月

診療時間 午前 9:00 ~ 12:30 午後 15:30 ~ 18:00 (最終受付 17:30) **お問合せ** 電話 0263-82-2474

◎木曜日・土曜日の午後及び、日曜・祝祭日は全科休診となります。

診療科目 / 曜日		月	火	水	木	金	土
内科	(1診) 午前	古屋(直)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古屋(直)	古川(厚)
	午後		大久保~17:00		古屋(直)		
(2診)	午前	寺島(益)	大久保	大久保	大久保	寺島(益)	寺島(益)
	午後	大久保~17:00		寺島(益)	大久保~17:00		
整形外科	午前	古屋(雄)		古屋(雄)	古屋(雄)	古屋(雄)	古屋(雄)
	午後		古屋(雄)		古屋(雄) 受付 10:00 まで		
外科(乳腺・甲状腺)	午前	小松	小松		小松	小松	小松
	午後			小松			
産婦人科	(1診) 午前	宮本	古川(哲)	宮本	古川(哲)	古川(哲)	古川(穰)
	午後						
(2診)	午前	古川(哲)	宮本		宮本 10:00 ~	宮本	
眼科	午前	亀田	寺島(紀) 受付 11:00 まで	野口	亀田	亀田	信大医師 受付 12:00 まで
	午後		亀田【予約検査】	亀田			
総合診療科	午前		上條(剛)		折井	永田	
	午後	永田~17:00		永田~17:00		永田~17:00	
小児科	午前	黒川	黒川	黒川	黒川	門田	黒川 受付 11:30 まで
	午後					黒川	
循環器科		毎週月・水曜日 9:00 ~ 12:30 信大医師					
禁煙外来	完全 予約制	毎週火曜日 14:00 ~ 15:30 / 毎週水曜日 14:00 ~ 15:00 大久保 毎週木曜日 12:00 ~ 13:00 折井					
形成外科		第2・第4木曜日 9:00 ~ 12:00 信大医師					
上部内視鏡検査		古川(厚) 永田	古屋(直) 信大医師	古屋(直) 永田	古屋(直) 永田	古川(厚) 信大医師	
下部内視鏡検査		古屋(直)	古屋(直)			古屋(直)	古屋(直)
ドック(12:50~)		大久保 村山	寺島(益) 村山	古屋(直) 村山	永田 村山	永田 村山	
特定健診(9:30~)		村山	永田	寺島(益)	村山	村山	
往診(13:30~)		古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)			

◎眼科受付時間:火曜 11:00 まで、土曜 12:00 までとなります。なお火曜午後は予約検査のみです。外来診療は行っておりませんのでご了承下さい。

◎内科は診療予約も行ってあります。(電話でも可) 予約・変更またはお問い合わせは全科 13:00 ~ 15:00 の間にお問い合わせ致します。

◎人間ドック及び検診の予約については、健康管理部直通 **0263-81-1011** までお問い合わせ下さい。

受付時間 平日 8:30 ~ 16:30 / 土曜日 8:30 ~ 11:30



医療法人
仁雄会

穂高病院

TEL 0263-82-2474(代) FAX 0263-82-7514

〒399-8303 長野県安曇野市穂高4634 URL <http://www.hotaka-hospital.or.jp>